

登録コード	L1532800	開講年度	2026	
担当教員	今井 章	副担当		
授業科目	公認心理師の職責			
英文授業名	Professionalism of Licensed Psychologists			
授業タイトル	公認心理師の職責			
単位数	1	対象学生		講義期間 前期 曜日・時限 月曜・4時限
講義室	人文第1講義室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ			
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につけている。 【思索力・受容力・批判力】		⇔	人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につけている。 【開拓力・企画発想能力】		⇔	専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	公認心理師には、法的義務や必要とされる倫理観、実際の業務に当たっての心理に関する支援を要する者等の安全の確保、個人情報の適切な取扱い、保健医療、福祉、教育、司法、産業その他の分野における公認心理師の業務、さらには自ら課題を発見し解決する能力、来たるべき高齢化社会における生涯学習への準備、多職種間における連携及び地域連携など、非常に多くの業務をこなすことが求められる。これらのことについて、確実な基礎知識を身につけるとともに、公認心理師の職業としての意義を考察する。			
授業計画	第1回目 ガイダンスと発表予定の決定 第2回目 公認心理師の役割、法的義務、求められる倫理、心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取扱い 第3回目 保健医療分野における公認心理師の業務 第4回目 福祉分野における公認心理師の業務 第5回目 教育分野における公認心理師の業務 第6回目 司法・犯罪分野における公認心理師の業務 第7回目 産業・労働分野における公認心理師の業務 第8回目 まとめと授業アンケート 定期試験なし			
成績評価の方法	授業には毎回の出席が必要である。授業での討論とレポーターとしての発表(50 %), および期末レポート(50 %)の評点を総合して、公認心理師の職責についての理解度を評価する。			
成績評価の基準	授業での討論に毎回、的確に参加し、レポーターとしての発表内容、およびレポートの内容が極めて優れている場合は『卓越している』, 討論に3/4程度、的確に参加し、レポーターとしての発表内容、およびレポートの内容がかなり優れている場合は『かなり上にある』, 討論に2/4程度、的確に参加し、レポーターとしての発表内容、およびレポートの内容がやや優れている場合は『やや上にある』, 討論に1/4程度、的確に参加し、レポーターとしての発表内容、およびレポートの内容がその水準にある場合は『その水準にある』と評価する。			
事前事後学習の内容	あらかじめ、授業内容に関係するテキストの該当部分を予習してくる事前学習(1時間)が必須である。授業テーマについて毎回、グループディスカッションを行い、そのディスカッションを通じて公認心理師の職責について各自が反省することを事後学習(1時間)とする。			
履修上の注意	心理学・社会心理学分野の学生を対象とする。心理学概論Ⅰ・Ⅱ, 社会心理学概論Ⅰ・Ⅱ, またはそれに相当する授業科目を最低、1科目は履修していることを前提に授業を進める。授業は隔週で行う。 なお、初回の授業時に半期の7回分の予定をすべて決定するので、履修希望者は必ず初回の授業に出席すること。			
質問、相談への対応	授業時に積極的に質問などをするを基本とする。その他、オフィスアワー(木曜日の12:30～13:30)にて対応するが、その場合は事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。			
教科書	子安増生・丹野義彦編 (2019). 公認心理師エッセンシャルズ第2版 有斐閣 価格1760円(税込)			
参考書	授業時に適宜、紹介する。			